

専務室 事業計画

室長 神田 哲志

昨年35周年を迎えた我々つくば青年会議所は、来る40周年という新たな節目へ向け、さらなる飛躍と成長を遂げ、進化していかなければならない団体です。これまで培ってきた経験を踏まえ、メンバー一人一人が青年経済人の一員であるということを感じ、将来の為にこの地域へどう貢献できるかを考えなくてはなりません。そして、明るい豊かな社会の実現に向け運動を展開するにあたり、組織の基盤を万全に整えていく事が重要です。

まず、多くの地域の方々に我々の運動を周知するためにホームページ、SNS、プレスリリース等を有効活用しながら積極的な情報発信をしてまいります。我々の運動を行う上で源となります財政面においては最大限に有効活用できるよう各事業予算を配分し、適正な管理運用を行ってまいります。さらに、将来のつくば青年会議所を担う人材育成も兼ねて財務運営幹事会議を毎月開催し予算面の検証を行います。総会を始めとする各種会議において円滑に進行を行う為に、事務面では綿密な準備と設営を行ってまいります。我々は青年経済人として今後の地域経済を支えていく必要があります。その青年としての力を習得する機会としまして真の経営者を目指す事業の開催を行い、経済人としてメンバーの資質の向上を目指していきます。また、ASPAC誘致を総会決議しているLOMとしましてアジア各国が集結する第68回 JCI ASPAC 鹿児島大会ジャパンナイトにブース出展を行い、国際色豊かなつくばの団結を発信してまいります。さらに、韓国北大田青年会議所との交流では、互いの状況の変化を鑑み、交流の在り方の検証を行ってまいります。

組織運営において内面の管理を十分に整える事で、メンバー全員が安心して更なる運動展開を構築していくことができます。その中で、我々メンバーが今一度再団結する事。それこそがこの地域への貢献に繋がり、将来のつくばをより良く発展させる基となります。

〔事業計画〕

1. 青年経済人として、真の経営者を目指す事業の開催
2. 第68回 JCI ASPAC 鹿児島大会ジャパンナイトのブース出展
3. 韓国北大田青年会議所との交流の在り方を検証

予 算

〇〇〇〇〇〇円

〇〇〇〇〇〇円

合 計

〇〇〇〇〇〇円